

地方公共団体実行計画（区域施策編）策定・実施マニュアル（算定手法編）（令和5年3月）の  
 主な改定箇所説明資料

項目番号	項目名	ページ	改定内容
1-2-1.	区域の温室効果ガス排出量	7	「図 1-2 区域施策編で把握すべき区域の温室効果ガス排出量」について、特に地理的行政区界と推計対象範囲との乖離がある部門（運輸、廃棄物）が分かるように図を修正した。
1-2-1.	区域の温室効果ガス排出量	7～9、11～13	温室効果ガスの種類と主な排出活動に「燃料からの漏出（非エネルギー起源 CO <sub>2</sub> 、CH <sub>4</sub> 、N <sub>2</sub> O）」、「燃料の燃焼（鉄道、船舶、航空機）」を追加した。
1-3-2.	エネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量の推計（産業部門 製造業）	20	バイオマス燃料の燃焼に伴う排出量について、カーボンバランスの考え方や、調達先を意識してバイオマス燃料を活用することの重要性について記載した。
1-3-2.	エネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量の推計（産業部門 製造業）	27、36	①推計手法の概要において、都道府県別按分法の推計精度に関する問題点を記載し、より詳細に実態を把握したい場合の推計方法（全国業種別按分法、事業所排出量積上法）や、区域内にエネルギー消費実態がない業種が存在する場合の考え方に関する説明を追記した。
1-3-2.	エネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量の推計（産業部門 製造業）	29、31、33、38、41	「工業統計調査」が廃止され、入手可能な統計の中で最新年度の統計である「経済センサス（活動調査）」を使用すること、2022年以降の統計値は「経済構造実態調査」を使用できる可能性があることを記載した。
1-3-2.	エネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量の推計（産業部門 製造業）	48	「総合エネルギー統計」の詳細な業種のうち、区域内に存在せずエネルギー消費実態がない業種については、算定を行う必要がないことをコラムとして記載した。
1-3-2.	エネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量の推計（業務その他部門）	64	「事業所排出量積上法」の説明について、分かりやすさの観点から記載の見直しを行った。
1-3-3.	エネルギー起源 CO <sub>2</sub> 以外の温室効果ガス排出量の推計（燃料燃焼分野）	148	家庭用機器の燃料の燃焼に伴い発生する CH <sub>4</sub> 及び N <sub>2</sub> O について、推計の考え方や活動量の把握方法、活動量の出典を記載した。
1-3-3.	エネルギー起源 CO <sub>2</sub> 以外の温室効果ガス排出量の推計（燃料燃焼分野）	152	表 1-61 ガソリンの自動車車種別分類の対応の旅客車類に、乗用車（ハイブリッド）を記載した。
1-3-3.	エネルギー起源 CO <sub>2</sub> 以外の温室効果ガス排出量の推計（燃料燃焼分野）	154、155	鉄道の走行、船舶の航行、航空機の運航に伴い排出される CH <sub>4</sub> 及び N <sub>2</sub> O について、推計の考え方や活動量の把握方法、活動量の出典を記載した。
1-3-3.	エネルギー起源 CO <sub>2</sub> 以外の温室効果ガス排出量の推計（燃料からの漏出分野）	156	燃料からの漏出分野における非エネルギー起源 CO <sub>2</sub> 、CH <sub>4</sub> 及び N <sub>2</sub> O について、推計の考え方や活動量の把握方法、活動量の出典を記載した。
1-3-3.	エネルギー起源 CO <sub>2</sub> 以外の温室効果ガス排出量の推計（農業分野）	167、168	地方公共団体の域内で、排せつ物分離・混合処理割合、排せつ物管理区分割合の把握が困難な場合の参照値の値を更新した。
1-3-3.	エネルギー起源 CO <sub>2</sub> 以外の温室効果ガス排出量の推計	168	家畜排せつ物管理に伴い発生する CH <sub>4</sub> 、N <sub>2</sub> O について、排せつ物分離・混合処理割合、排せつ物管理区分割合の把握が困難な場合の参照値の値を更新した。

項目番号	項目名	ページ	改定内容
	果ガス排出量の推計（農業分野）		
1-3 -3.	エネルギー起源CO <sub>2</sub> 以外の温室効果ガス排出量の推計（農業分野）	169、 173	家畜排せつ物管理に伴い発生するCH <sub>4</sub> 、N <sub>2</sub> Oについて、飼養頭数を活動量として算出する簡易的な方法を記載した。
1-3 -3.	エネルギー起源CO <sub>2</sub> 以外の温室効果ガス排出量の推計（廃棄物分野）	187	工場廃水の処理に伴い排出されるCH <sub>4</sub> 及びN <sub>2</sub> Oについて、統計区分の再編の影響で活動量の把握方法が変更となるため、補完方法を記載した。
1-3 -3.	エネルギー起源CO <sub>2</sub> 以外の温室効果ガス排出量の推計（廃棄物分野）	188	表 1-98 産業中分類別の生物処理プロセスに流入する廃水処理割合の値を更新した。
1-3 -3.	エネルギー起源CO <sub>2</sub> 以外の温室効果ガス排出量の推計（廃棄物分野）	192	最終処分場浸出液の処理に伴い排出されるCH <sub>4</sub> 及びN <sub>2</sub> Oについて、推計の考え方や活動量の把握方法、活動量の出典を記載した。
1-4	区域の森林等の吸収源による温室効果ガス吸収量の推計	198～ 201	吸収源対策の推計対象として、森林、都市緑地のほかに農地土壌についても整理した。また、吸収源の評価方法の例を記載した。
1-4 -1.	森林による温室効果ガス吸収量の推計	202	民有林（公有林・私有林）と国有林のいずれも算定対象となることを記載した。
1-4 -1.	森林による温室効果ガス吸収量の推計	203、 208	森林土壌について、簡易的な推計方法の算定式、各種係数を記載した。
1-4 -2.	農地における炭素蓄積変化量の推計	214～ 215	農地における炭素蓄積変化量の推計の考え方について記載した。
1-4 -3.	都市緑化の推進による温室効果ガス吸収量の推計	218、 219	都市公園及び港湾緑地において、リターと土壌で生ずる炭素蓄積増加も推計対象とする旨を記載し、推計式と推計対象及び推計に使用する係数について整理した。
1-6 -2.	部門・分野別の推計手法	229	表 1-128 部門・分野別の将来推計に用いる活動量の例及びコラムについて、2030年度におけるエネルギー需給見通しの内容を踏まえて更新した。
3-1 -1.	再生可能エネルギー導入目標の設定の基本的な考え方	250～ 259	再生可能エネルギー導入目標の設定の基本的な考え方として、下記の項目を追記した。 (1) 対象とするエネルギーの種類と数量の単位 (2) 再生可能エネルギー導入目標の設定に当たっての地域間連携の考え方 (3) 目標設定の基本的な考え方
3-1 -2.	再生可能エネルギー導入目標の設定手法	262～ 287	再生可能エネルギー導入目標の設定手法として、下記の項目を追記した。 (1) 標準的な目標設定手法 (2) 発展的な目標設定手法
4	現況推計に用いる統計等一覧	313	現況推計に用いる統計等一覧の部門・分野に、燃料からの漏出分野を追加した。
5-2 -1.	燃料燃焼分野	326、 329	家庭用機器の燃料の燃焼に伴い発生するCH <sub>4</sub> 及びN <sub>2</sub> Oについて、排出係数を記載した。
5-2 -1.	燃料燃焼分野	331	鉄道の走行、船舶の航行、航空機の運航に伴い排出されるCH <sub>4</sub> 及びN <sub>2</sub> Oについて、排出係数を記載した。
5-2 -2.	燃料からの漏出分野	332、 333	燃料からの漏出分野（非エネルギー起源CO <sub>2</sub> 、CH <sub>4</sub> 及びN <sub>2</sub> O）について、排出係数を記載した。
5-2 -4.	農業分野	338～ 341	家畜排せつ物管理に伴い発生するCH <sub>4</sub> 、N <sub>2</sub> Oについて、排出係数を更新した。

項目番号	項目名	ページ	改定内容
5-2-5.	廃棄物分野	346	最終処分場浸出液の処理に伴い排出される CH <sub>4</sub> 及び N <sub>2</sub> O について、排出係数を記載した。

※その他、全体を通して分かりやすくするために表現を改めた箇所がある。